

数学

名古屋大学 理学部、医学部、工学部、農学部、情報学部

(自然情報学科、コンピュータ科学科) (前期)

1 / 1

<全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

解答形式

全問論述式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

2年連続文科系との共通問題が出題されていたが、今年度は文科系との共通問題はなかった。
数学Ⅲからの出題が多かった。

その他トピックス

2年連続複素数平面が出題された。
確率・整数が出題されなかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	2次関数 複素数平面	数学Ⅰ 数学Ⅲ	4次方程式の解が複素数平面において定円上にある条件から、係数の存在範囲を求める問題。	標準
2	図形と方程式 微分法・積分法	数学Ⅱ 数学Ⅲ	円の一部と直線で作られる図形を回転させた体積の最大値を求める問題。	やや難
3	微分法	数学Ⅲ	2つのグラフの共有点の個数を調べる問題。	標準
4	式と証明 数列	数学Ⅱ 数学B	二項定理を利用して係数を調べる問題。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

大問4題の中に、分析力、思考力、論述力を試す問題が組み込まれている。典型的な計算・証明も含まれる一方で、状況をよく観察、分析し、構想する力、および与えられた条件や目標を念頭に置いて式を扱う力が必要となる問題もある。

以上のことを踏まえて日頃の学習においては、標準的な解法を早期に身につけた上で、難易度の高い問題や過去問を演習する中で自ら方針を立て作業する練習をしていこう。本大学では微分法と積分法・確率・整数・数列・図形が頻出であるから、今年は出題されなかった確率や整数の問題についても、しっかりと対策をしておくとうい。